

Central Japan Startup Ecosystem Consortium 拠点形成計画の概要について

1 連携の目的

日本を代表する世界的な製造業の集積地として、日本経済を牽引する「浜松」と「愛知・名古屋」の2つのコンソーシアムが、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」を形成。

両地域が、共通の基盤である産業基盤と地域間の密接なつながりを活かし、共通のビジョンをもって、革新的なイノベーションとスタートアップの創出、シナジー効果の発揮に一体的に取り組む、世界に伍するグローバルなスタートアップエコシステムを形成する。

2 期待されるシナジー効果

- コミュニティ間の繋がり・相互参加、ソフトの共有等による対流・交流の促進(参加者の多様化・熱量の高まり)
- 自動車を始め共通の産業基盤での連携・連合の拡がり・深化と、工作機械・ロボット、新素材、光(フォトン)、農林水産業等、各地域・大学の先端技術・先進的な取組を活かしたオープンイノベーション・異分野融合の進展
- ブランド力・知名度の向上による域外・海外の人材・投資の呼び込み
- 行政間の取組・課題・知恵の共有による打ち手のブラッシュアップと迅速化
- 本連合をきっかけとする愛知・名古屋をハブとした中部圏全体の都市間・拠点間連携の進展・具体化

3 今後の取り組み

(1)各拠点におけるスタートアップ支援施設の連携

「なごのキャンパス」「INNOVATOR'S GARAGE」「ステーション Ai」「FUSE」「はままつトライアルオフィス」など、各拠点のスタートアップ支援施設において、イベント募集の相互協力、利用者に対する各施設の紹介、通信回線でない複数施設におけるイベントの同時開催、連携によるアクセラレーションの実施など、相互連携によるスタートアップ支援に取り組む

(2)地域企業とスタートアップのマッチング支援

各拠点のピッチイベントやマッチングイベントにおいて、お互いのスタートアップ、中小企業、大企業などが参加し合うことで、スケールメリットを生かした多種多様なオープンイノベーションの場づくりに取り組む。

(3)グローバル化への対応

各拠点で活躍するスタートアップの海外展開や海外スタートアップ企業の誘致・集積について連携による支援に取り組む。

4 各拠点(浜松および愛知・名古屋)の計画概要



浜松市 スタートアップ・エコシステム拠点形成計画の概要 R2.4~R7.3

※浜松市スタートアップ戦略推進協議会 浜松市スタートアップ戦略

ビジョン

スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。
将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与する。

構成機関	戦略	KPI
静岡大学	戦略1 スタートアップの創出 <ul style="list-style-type: none"> ■ 起業を後押しする環境の整備 ■ 大学や研究機関の研究シーズの事業化 ■アントレプレナーシップ教育の強化 	創業数
浜松医科大学		10→30社/年
光産業創成大学院大学	戦略2 スタートアップの経営力強化 <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営に必要なノウハウ等を習得できる場の提供 ■ 経営をはじめとした専門人材の獲得支援 ■ グローバル化・海外展開の支援 	イベント開催数
静岡銀行		102→300回/年
浜松磐田信用金庫	戦略3 資金調達環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ■ 制度融資や補助金の充実 ■ スタートアップへの投資の促進 ■ 新たな資金提供者の創出 	ファンド調達額
浜松商工会議所		11→30億円/年
浜松地域イノベーション推進機構	戦略4 オープンイノベーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> ■ スタートアップとのマッチングの場の創出 ■ 拠点、ネットワークの活性化(イベント強化など) ■ 積極的なスタートアップとの連携や先端技術の活用 ■ 試作等の支援 	企業等との連携数
JETRO浜松		25→75件/年
ヤマハ(株)	戦略5 スタートアップの誘致 <ul style="list-style-type: none"> ■ 情報発信力の強化 ■ 本市進出の機会づくり ■ 本市に進出するスタートアップがビジネスしやすい環境の整備 	市外からの進出数
スズキ(株)		4→12社/年
浜松トホクス(株)	戦略6 スタートアップ支援力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■ 支援者のスキル強化 ■ 支援機関の誘致 	
(株)ソミックマネージメントホールディングス		
リンクウイズ(株)		
(株)ブルックマンテクノロジー		
浜松市		

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium 拠点形成計画の概要

1. エコシステム形成の目標と取組指針

目標	自動車産業の構造変化やデジタル革命の急速な進展を始めとした変革期を迎える中、世界的な製造業の集積地である中部圏は、既存企業の飛躍的な生産性向上と共に、新たなイノベーションエコシステム構築を進め、「日本経済を牽引する成長」、スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」を実現。
	※Next Society…内外から多種多様な人材が集まり、次世代技術を用い、共創しながら社会課題を解決し、まだ見ぬ新たな価値を創出していく社会
取組	スタートアップやイノベーションが創出されにくい環境を克服し、CASE、MaaSを含む産業構造の変革をチャンスに変え、この地域の強みであるものづくり産業と基礎研究の集積から生まれるディープテックを活かした、世界的に求心力のあるイノベーション、スタートアップエコシステムを、愛知・名古屋をハブとした中部圏に形成。

2. エコシステム形成に向けた4つの重要コンセプト

卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出 大学群を中心とした起業家教育(研究者含) デジタル教育(AI人材含)の拡充等	海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化 製造業の集積等を活かした拠点をハブとする海外ネットワーク形成等
ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決 ものづくり企業等の積極的な参画・関与 拠点をハブとした域内・域外人材の対流・交流の活性化	ベンチャーファイナンスの仕組みを構築 国内VCや海外投資家とのネットワークの形成

3. エコシステム形成のための6つのKPI

1 起業を志す人材・イノベーション人材の輩出	10,000人以上/5年間	4 資金調達額	1,000億円以上/5年間
2 様々なプレイヤー間の共創による新規事業開発件数	1,000件以上/5年間	5 スタートアップの起業数	県市200社以上/5年間 中部圏300社以上/5年間
3 海外スタートアップ企業と当地域企業とのビジネスマッチング件数	400件以上/5年間	6 100億円以上の売上規模のスタートアップ創出 企業評価額1,000億円以上企業創出	10社以上/5年間 5社以上/10年間